

第2回理事会 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所
2021年度第2回理事会議事録

日時:2021年2月8日(金) 19:00~

場所:尾道国際ホテル

(出席者)安楽城大作・今岡正英・加藤雄大・島田元太・吉田雄太・内海洋平・森川陵・大池慎三・沼田剛志・島田昌広・岡本大輔・山本恭平・高山敦好・吉田嵩正・岡本正也・小西琢真・中島裕一朗・歌一行・水野春樹・加藤雅崇

(オブザーバー) 中司昌克

(欠席者) 加度亮平・高橋建太・高升純

(遅刻) 森川陵

(早退) 中司昌克

次第

1. 開会 (歌一行)
2. 点鐘：(安楽城大作)
3. JCI クリッド唱和：(岡本大輔)
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和：(岡本正也)
5. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和：(内海洋平)
6. 出席者の確認：(加藤雄大)
7. 配付資料の確認：(歌一行)

事務局側のミスで、審議事項1件について資料の挿入漏れがありましたので、資料を用意させて頂いております。

こちらについては、審議の3号議案と4号議案の間に審議上程をして頂きたいと思いません。

よろしく願いいたします。

8. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名：(安楽城大作)
9. 議題の確認：(歌一行)
10. 理事長予定者挨拶：(安楽城大作)

先月は事業としては新年例会だけでしたが、今月からいよいよ本格的に自分たちで考えた事業が展開されていきます。

皆さんには予定者段階から色々と考えて頂く中で、時には壁にも当たりながらやってこられたのではないかと考えております。

そんな中、私の方から1つ想いをお伝えしたいと思います。

JCの自分たちで生み出す事業に「正解」はないと思っています。

第2回理事会 議事録

長年JC活動に携わってきて、約100件程度の事業を見てきました。

準備段階では、上程内容も素晴らしく、だれもが成功を確信していた事業があまり良い結果に終れなかったこともありましたが、

逆に、理事会の間では不安を感じるような内容の物が、ふたを開けてみると大成功を収めたということも多々ありました。

ですので、始める前に何が正解なのか、理事長として「判断基準」を決めることは難しい面があります。

だからといって、何をしても良いということではありません。

私の所信や、これまで色々とお話しさせて頂いた事が前提にあった上で、委員長の皆様が必死に考えて頂いた物が形になっていくのだと思いますし、

「正解になるべく近づける」努力はするべきであろうと思います。

そのためのヒントになるのが、委員会メンバーから出てくる意見や、理事会での理事メンバーからの意見、そして正副理事会メンバーからの意見だと思っています。

これらの場に出てきた意見に従う必要があるという事はありませんが、様々な意見の中でも自分のやりたいことを貫くためには、皆を「説得できる」ということは大事なことであり、

また、出てきた意見を取り入れて、新しい道を模索しながら出てくる物が、正解により近づくためには必要だと考えています。

これから様々な議案が上がってくるとは思いますが、何事も無く事業の実現までいくのではなく、皆さんの意見や質問をぶつけて頂くことが、より良い事業に繋がると思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

もう一点、私が最近思うことをお話ししたいと思っています。

事業を考えることは、特に初理事メンバーの方々には非常に難しい事だと思っていますが、私が判断基準にしていることがあります。

事業をする際に、委員長は「趣旨説明」、副理事長は「副理事長謝辞」理事長は「挨拶」をします。

その挨拶の内容をどのようにするか考えると、自然とその事業の背景や目的が見えてくるように思います。

挨拶をする対象者は事業によって異なりますが、「なぜこの事業をするのか」「参加してくれた人達にどうなってほしいのか」ということはどんな事業でも必ず内容に入ると思っています。

私も過去に2回副理事長を経験し、副理事長謝辞にはそういったことを話してきました。

その挨拶を「自信を持って言える」ということが、とても大事な判断基準になってくるのではないかと考えます。

委員長は自分の事業に対して不安になる事もあるかと思っています。

第2回理事会 議事録

そんな時は、自分がする挨拶を考え、「誰に対して、どんな挨拶をするのか」そういったことを想像しながら事業に向き合ってもらえると、やるべき事が見えてくるのではないかと思います。

私もJCだけでなく、会社でも挨拶をすることがありますが、その際には従業員にどうなってもらいたいのかという「目的」があり、自分がどうしたいかという「理想」があります。

それを皆にどうやって実現してもらうかは、JCの事業にも通じることがあると思います。是非そういったところも参考にして貰って、より良い事業を作って頂きたいと思います。

よろしく願いいたします。

11. 直前理事長予定者挨拶：（加度良平）

欠席のため割愛。

12. 理事長予定者報告：（安楽城大作）

資料にて確認。

13. 委員会報告：

【社会開発室】（島田元太）

「未来ビジョン委員会」（内海洋平）

委員会報告は記載の通りです。

事業について話し合い、打ち合わせをしております。

「社会開発委員会」（大池慎三）

1月31日の「災害ボランティア養成講座」に多くの方々にご参加頂き、ありがとうございました。

委員会報告は記載の通りです。

次の事業に向けて、調査・研究をしています。

【指導力開発室】（吉田雄太）

「地域教育実践委員会」（島田昌広）

委員会報告は記載の通りです。

3月例会、家族会について話し合いを進めております。

本日、協議上程が1件ありますのでよろしく願いいたします。

「組織活性化委員会」（山本恭平）

第2回理事会 議事録

委員会報告は記載の通りです。

2月9日、10日に2月例会のリハーサルを実施予定です。

当日に向けて委員会メンバー一丸となって準備を進めております。

本日は審議上程が1件ありますので、どうぞよろしく願いいたします。

【JC 運動推進室】（歌一行）

「拡大研修委員会」（吉田嵩正）

先日は合同委員会にて、拡大会議のお時間頂きありがとうございました。

委員会報告は記載の通りです。

現在、仮入会員が2名です。

「総務広報委員会」（小西琢真）

委員会報告は記載の通りです。

現在はJC ライフについて話し合っております。

14. 審議事項：（安楽城大作）

第1号議案 2020年度 一般社団法人尾道青年会議所 収支補正予算（案）に関する件

（中司昌克）

本来であればこちらの議案は2020年度専務理事の高橋建太より上程させて頂く議案ですが、2021年度の監事を担当する人間が上程を行うのは組織として適当ではないのではないかという理由から、2020年度事務局長の中司より上程させて頂きます。よろしく願いいたします。

資料読み上げ（1-1、1-2）

資料参考（1-3）

こちらに関しては、全て説明すると時間がかかりすぎてしまいますので差異が大きいところのみ説明させて頂きます。

まず、「事業活動収入」に関してですが、「（1）正会員収入」が756,000円の差異がございます。

こちらは新入会員が9名入りまして、年会費が21,000円×9名、入会費が63,000円×9名で合計756,000円となっております。

OB会員収入ですが、多く振り込んでこられる方や、全く連絡が付かない方がおられるので、マイナス307,000円の差異が出ております。

合計で449,000円の差異となっております。

「（2）事業収入」ですが登録料収入が1,212,606円となっております。

第2回理事会 議事録

また、義捐金引当金ですが、こちらはクラウドファンディングの寄付金を一旦、法人会計に繰り入れて、法人会計より寄付を行った会計処理を行いましたので、こちらが1,247,095円となっております。

合計で2,459,701円となっております。

「(4)の寄付金収益」については、クラウドファンディングの収益と、日本JCからのファンドの還元分の保証金を合わせて4,440,004円となっております。

補正予算の合計の事業活動収入が18,186,495円となり、7,310,495円の差異となっております。

続きまして「事業活動費」に関してですが、「(1)事業費支出」の会場設営費支出が30万円ほど差異が出ております。

通常例会であれば食事代を含めて安く会場をお貸し頂いておりますが、食事が無かった例会が多々あったのと、予定より広く会場をお借りしたので差異が生じております。

但し、食事代については食事を取る機会が少なかったため、約112万円のマイナスが出ております。

それより下については事業活動における差異になります。

上程内容ではありませんので、ご一読下さい。

「(2)管理費支出」ですが、こちらにもマイナスの物に関しては、「JCライフの休刊時期があった」ことなどから「通信・発送費支出」や「印刷製本費支出」がマイナスになっております。

「支払い寄付金支出」に関しては、尾道市への寄付金になります。

その下の「負担金支出」については多少の差異が出ておりますが、ご一読下さい。

事業活動支出の合計が16,262,105円となり、3,394,172円の差異となっております。

また、今年は積立金として1,000,000円支出させて頂きました。

よって、当期収支差額は924,390円となり、2,916,323円プラスの差異となりました。

補正予算については以上です。

慎重なる審議をお願い致します。

*全会一致で承認。

第2号議案 2020年度 一般社団法人尾道青年会議所 事業報告(案)に関する件
(中司昌克)

資料読み上げ(2-1、2-2)

資料参照(2-3、2-4、2-5、2-6、2-7)

こちらは2020年度の1年間の事業報告をまとめたものになります。

第2回理事会 議事録

ご一読頂ければと思いますが、中止となった事業や、WEB開催となって事業はその旨を記載しております。

資料参照（2-8）

収支計算書に関してですが、先ほど上程致しました「補正予算書」と同じ内容になりますのでご一読下さい。

資料参照（2-9）

正味財産増減計算書についてですが、2019年度との差異を記載しております。

こちらにも差異の大きいもののみ説明させていただきます。

「（1）受け取り会費」ですが、会員の減少に伴い減少しております。

プラスに転じるように、拡大活動を頑張ってもらいたいと思います。

また、特別会員が減り、OB会員が増えたため、OB会員会費収益はプラスとなっております。

事業収益ですが、事業が無かった分登録料収入がありませんでしたので、前年度比でかなりのマイナスとなっております。

義捐金引当金に関してはクラウドファンディングにより大幅なプラスとなっております。寄付金についても同様です。

合計で前年度比で1,541,843円の差異が生じております。

経常費用の「（1）事業費」「（2）管理費」に関しては、クラウドファンディングにより当初の計画とは大幅にズレが生じたこと、尾道火花プロジェクトによって大きな金額を使用したことによって、大幅な差異が出ている状況です。

前年度比で合計マイナス814,931円となっております。

全て合わせまして、2,356,784円の差異が出ております。

資料参照（2-10、2-11、2-12、2-13、2-14、2-15、2-16）

尾道青年会議所の財産目録と貸借対照表を添付しております。

1月19日に新旧監事のかたにお集まり頂いて、預金額・現金・資金の流れ等問題が無いことを確認頂いておりますので、ご一読頂ければと思います。

また、2月17日の議事録も添付しておりますのでご確認のほどよろしくお願い致します。

最後に監査報告書も添付しておりますので、こちらもご確認下さい。

慎重なる審議をお願い致します。

*全会一致で承認。

第3号議案 2021年度 一般社団法人尾道青年会議所 一般収支修正予算（案）
に関する件

第2回理事会 議事録

(歌一行)

こちらに関しましては、予定者段階で予算の作成し上程を行いましたが、先ほど中司前事務局長から上程頂いたとおり、前年度の決算が確定したことと、会員が予定より減少したことを受け、再度上程させていただきます。

資料読み上げ(3-1、3-2)

資料参照(3-4)

変更点については、こちらの「正味財産増減計算書」でご説明させていただきます。

まずは上段の収入についてですが、正会員の会員数が減少したことにより、収入の金額が減っております。

当初は69名で8,694,000円を見込んでおりましたが、66名に減少したので8,316,000円となっております。

そちらを受けての「経常収益計」ですが、10,543,000円となっております。

次に支出についてですが、「(1)事業費」については、各委員会の事業費に変わりはありませんが、3名会員が減少したことで会場費支出と食事代支出が減少しております。

当初予算より、合計で78,408円減少しております。

「(2)管理費」については変更ありません。

「(3)負担金」についてですが、こちらも会員の減少に伴い、日本・地区・ブロックの負担金が減少しております。

当初予算より、合計で24,267円減少しております。

「経常費用計」ですが、12,793,694円となっております。

収益から費用を引いた額がマイナス2,250,694円となっております。

当初の見込みですと、マイナス1,975,369円でしたので、マイナス額が増えた形です。

「一般正味財産期首残高」ですが、12,142,809円となっております。

「一般正味財産期末残高」が9,892,115円となっております。

今年度の収支がマイナス200万以上となっております。新会員の獲得が喫緊の課題となっております。

ここにおられる理事の皆さんを中心に、目標の15名の獲得に向けて頑張りたいと思いますのでよろしく願いいたします。

以上慎重なる審議をお願い致します。

(安楽城大作)

昨年予算を作成する際に、「マイナス計上になることは仕方が無いが、例年200万まではいっていない。

第2回理事会 議事録

それを目指して予算を組み立てたい」という話をして、皆さんにも事業費の面でご協力頂きました。

そうやって何とか200万まではいかないように組み立てられましたが、今回会員減少に伴い、225万円のマイナスになってしまいました。

改めて、会員が減少しないように、組織として魅力を作っていくといけないと思いましたが、拡大活動も頑張って人数を維持して、できる事業の幅を広げていきたいと思えます。

改めて拡大活動へのご協力をお願い致します。

それでは採決に移ります。

*全会一致で承認。

第4号議案 例会・総会の設営及び運営 事業報告(案) 決算(案)に関する件
(小西琢真)

*持ち込みだが「4号議案」として記述し、持ち込み資料に関しても紐付ける。

資料読み上げ(4-1、4-2)

以上、慎重なる審議をお願い致します。

*全会一致で承認。

第5号議案 全般的な庶務の遂行【各種表彰】 事業報告(案) 決算(案)に関する件
(小西琢真)

資料読み上げ(5-1、5-2)

資料参照(5-4)

こちらの「収支計算書(案)」の中に1点変更点がございます。

企画費支出の中の「高額購入割引」が3,240円割引出ており、その分が余剰金にまわっております。

以上、慎重なる審議をお願い致します。

(安楽城大作)

私の方から1点、大事だと思ったことがあります。

次年度への引き継ぎ事項の最後のところに「記念品の中身のアナウンスをしなかった」とありますが、記念品の中身を知っているメンバーは少ないのではないかと思います。

第2回理事会 議事録

こちらに関しては次年度以降、会としてアナウンスをしていけば良いかと思いますが、このこと以外にもいろんな事が「理事メンバー以外は知らない」という状況があると思います。

こういう状態で、全体として事業に取り組んでいてもなかなか一体感が出てきづらいのではないかと思います。

尾道青年会議所が、組織として何に向かって、何をしているのかを共有することは非常に大切だと思いますので、小さいことでも報告して行って欲しいと思います。

なので、理事会で話し合ったことに関しては委員会でも共有して欲しいと思います。

ご協力をお願い致します。

*全会一致で承認。

第6号議案 新年例会 事業報告(案) 決算(案)に関する件

(大池慎三)

資料読み上げ(6-1、6-2)

資料参照(5-3、5-4)

予算について、差異の生じた部分をご説明致します。

まずは会場設営費の支出に関してですが、席次表を事務局に手配頂いたため0円となり、差異が438円生じております。

次に企画演出費の支出ですが、映像費謝礼費の33,000円をOBの岡田健吾先輩にお支払いする予定でしたが、どうしても受け取ってもらえず0円となっております。

マウスシールドですが、当初は国際ホテルの亚克力板の前でのスピーチを考えておりましたが、マウスシールドの方が良いという声がありまして、購入し、8,450円のマイナスとなっております。

また、のぼり置き8台に関しては私のミスで記載漏れがあり、マイナス9,405円となっております。

以上、慎重なる審議をお願い致します。

(小西琢真)

12月の卒業例会の参考にしたいとお聞かせ願いたいのですが、シンプルな新年例会の中で、何が一番先輩方におもてなしができた、手応えがあったとお考えでしょうか。

(大池慎三)

一番良かったのは、始まる前に全員でのエスコートができたことだと思います。

第2回理事会 議事録

会員全員に惜しみなく協力をお願いして、全員で動くように持って行くことが重要だと思います。

(高山敦好)

岡田健吾先輩に、謝礼金をどうしても受け取ってもらえなかったというお話でしたが、審議で予算を上げている以上、そういう理由で差異が生じるのは如何なものかと思いますが、どうお考えでしょうか。

(大池慎三)

あまり頼ってはいけないという気持ちはあったのですが、どうしても良い映像を流したいということで、予算を33,000円として岡田健吾先輩にお願いを致しました。

ご意見はごもっともだと思いますし、私も岡田先輩には「どうしても受け取って欲しい」ということをお話していたのですが、「そういう風に言うのであれば、今後はJCに関わらないよ」という風に言われてしまいました。

今後の会に響くようなことになりかねないと思い、申し訳ないですが、断念を致しました。

(高山敦好)

今回の場合は事前に話しておいて頂ければ良かったと思います。

払わない方が良いのであれば、予算にあげない方が良かったと思います。

予算というのは、皆で話し合いをして決めるものですので、話し合った意味が無くなってしまわないかと思いました。

次回から気をつけて頂きたいと思います。

(安楽城大作)

この件に関しては私も思うことがあります。

何年か前から、映像を作る際には自然に岡田健吾先輩にお願いするという流れができてしまっています。

昨年でご卒業されましたので、今後映像をお願いする際にはルールを決めてお願いしようと委員会で予算を上げてくれたのだと思います。

終わってみて思うのが、「岡田先輩が謝礼金を受け取った場合、今後も30,000円払えばやってもらえる」という前例を作ることになるのではないかということです。

もちろん、審議の時までに予算はきちんと決めておくべきだったとは思いますが、今後は、良い映像を作りたいということで岡田先輩にお願いをする場合があるとしても、何かから何までお願いするのではなく、自分たちでまずは作成してみて、それをどうより良くできるのかの相談という形が良いのではないかと思います。

第2回理事会 議事録

今は「岡田先輩にお願いすれば何とかなる」という風潮があるように思いますが、それは変えていく必要があると思います。

2月例会でも配信について岡田先輩にご協力をお願いしています。

初の試みなので、詳しい方にご協力頂くのは良いと思いますが、今回で自分たちで方法を身につけて、次回以降は自分たちで何とかできないといけません。

映像も同じで、助言を頂いたなら、その次は自分たちで作れるようにしないとけないと思います。

*全会一致で承認。

第7号議案 例会・総会の設営及び運営【定時総会の開催】事業計画（案）に関する件
（小西琢真）

資料読み上げ（7-1、7-2）

こちらに関しては、委任状の提出の厳守をお願い致します。

委員長・副委員長の皆様はメンバーへの周知をお願い致します。

以上、慎重なる審議をお願い致します。

（山本恭平）

資料7-4の案内文に関してですが、「ご欠席または遅刻・欠席の可能性のある方は」とありますが、欠席という表現をどちらか削った方がわかりやすいと思います。

（小西琢真）

ご指摘ありがとうございます。

修正させて頂きたいと思います。後ろの「・欠席」の削除をお願いします。

（安楽城大作）

すいません、1点訂正です。

資料7-4の案内文に会食についての記載がありますが、今の状況を鑑みて、大勢で集まる会の会食はない方が良いでしょうということで、事務局判断で「当面の間、例会での会食は無し」ということにさせて頂きたいと思います。

また、変更に伴う予算の変更はありません。

ですので、こちらの会食についての記載も削除をお願いします。

また復活の際は連絡させて頂きますので、よろしくお願いいたします。

*全会一致で承認。

第8号議案 2月例会 事業計画(案) 予算(案)に関する件

(山本恭平)

資料読み上げ(8-1、8-2、8-3)

予算に関して変更点はございません。

大きな変更点としては、今回講師の先生を招いての実施を目指しておりましたが、緊急事態宣言が発令、延長され講師の先生の移動が難しいことから、会場と講師の先生をオンラインで繋いだ例会対応に変更致します。

それに伴い、資料7-11にあるように、会場レイアウトが大きく変更となっております。

国際ホテル様からの要望で、通常であれば長机を使用するのですが、感染予防策対策としてスクール形式で1つのテーブルに2人掛けという形を取らせて頂きます。

また、ZOOMを使っての開催になりますので、パソコンの配置位置も記載しておりますが、実際のリハーサルを実施してみて、可能であればパソコンの台数を減らしてシンプルな形の開催を模索しております。

ですので、当日のレイアウトに関しては、席の配置に関しては大きく変更は無い予定ですが、パソコンの設置に関しては変更が考えられます。

また、資料7-12にあるように、オンラインで会場と先生を繋ぐと言うことで、会場の風景も先生に見えるようにした方が、リアクション等が見れるので良いだろうと考え、全体撮影をしながら例会を進めてまいります。

また、理事長挨拶、副理事長謝辞、私の対談に関しても、どういう形で進行しているのかが先生にわかるようにしたいと考え、ステージを撮影した映像を流す形で考えております。

大きな変更点は以上です。

ZOOMを使用して、会場と先生を繋ぐ初の試みということで、メンバー一丸となって準備をしております。

皆さんにより例会の内容が伝わる設え、そして講師の先生に失礼の無いように例会運営ができるようにしたいと思います。

皆様ご協力のほどお願いいたします。

以上、慎重なる審議をお願い致します。

(内海洋平)

意見になりますが、国際ホテルでZOOMを使い会場と先生を繋ぐ初めての試みになるとは思いますが、今後こういった設えでの例会実施もあるかと思えます。

実際にやってみて、問題点や良かった点など是非細かい点まで含めて共有して頂ければと思います。

(山本恭平)

委員会できちんと取りまとめて、次に実施する委員会が ZOOM 対応をスムーズに行えるようにしていきたいと思います。

* 全会一致で承認。

第9号議案 持続可能な魅力あるまちづくり創造への調査・研究・実践 事業計画 (案)
予算 (案) に関する件

(内海洋平)

資料参照 (9-1, 9-2, 9-3, 9-4)

続いて予算について説明させていただきます。

資料8-6の収支予算明細代をご確認下さい。

変更点としては、会場費支出が尾道市のご協力により全額免除となりました。

追加致しましたのが、設営費支出の感染対策一式の9,000円と、演出費のコーナー備品購入で30,000円になります。

また、資料費支出をアンケート1,000部×3円で3,000円計上しております。

事業予備費支出が12,010円で、合計で200,000円とさせて頂いております。

資料参照 (9-7, 9-8, 9-9, 9-10, 9-11, 9-12, 9-13)

続いて、事業概要についての変更点についてご説明致します。

子供達から、我々が聞きたい意見を引き出すためにテーマを明確にし【議場に立って「尾道でやりたいこと」を発言してみた!】としました。

議場の発表の流れについては、資料9-8に記載しております。

次に、撮影コーナーについてもより具体的にしておりますのでご説明させていただきます。

4つコーナーを設営し、新たに「なりきりコーナー」としてネコメイクを追加致しました。

次に編集コーナーですが、こちらは委員会メンバーが対応します。

よりわかりやすく、子供達が編集を行えるように、マニュアル資料を作成しました。

撮影から編集の流れに関しては、資料9-11に記載しておりますのでご一読下さい。

資料参照 (9-19)

より親しみやすく、体験の内容がわかるようにチラシも変更しております。

資料参照 (9-20)

第2回理事会 議事録

イベント専用のYouTubeチャンネルの設営について説明しておりますが、事前の告知に加えて、コーナー毎の説明の動画もアップしていき、集客に繋げることを考えております。

また、当日の議場での発言を編集した物をこちらにアップしていきます。

より多くの方に見て頂けるように、青年会議所のHPやSNSを活用し拡散を考えております。

また、メンバーのSNSでも拡散のご協力をお願い致します。

以上、慎重なる審議をお願い致します。

(吉田嵩正)

対象者が小学1年生から6年生となっておりますが、ご兄弟など対象外の方が体験されたいと言われた場合はどのように対応をお考えでしょうか。

(内海洋平)

委員会メンバーでも話しておりますが、来られた方のご兄弟は入場頂けるようにしたいと思えます。

明らかに大人だけであったりする場合はお断りしようと思っております。

(岡本正也)

予算には上がってないようですが、1年生から6年生が参加される中で、例えばケガに対してだったり、備品を壊してしまったりという事態に対応した保険はお考えでは無いのでしょうか。

(内海洋平)

基本的に備品関係は、購入した物や青年会議所のものを使用予定なので、必要ないと考えています。

(高山敦好)

「持続可能なまちづくり」というテーマが背景にあると思いますが、内海委員長の考える持続可能なまちづくりという点について、再度お考えをお聞かせ下さい。

(内海洋平)

まずは、次世代に何かを残すために、こういった体験ができる場が必要であると考えました。

第2回理事会 議事録

また、まちづくりという意味では、子供達が議場で発言することにより、まち作りに携わっている議員の皆様聞いて頂くことで、実際にまちづくりに繋がっていくと考えています。

また、こちらをYouTubeで配信することによって、町の方々を含む、不特定多数の方に見て頂き、そういった方々のまちづくりに繋がる行動のきっかけになるのではないかと考えています。

(高山敦好)

子供が発信する機会があって、大人がそれを取り入れたり、理解して貰うことが子供達の将来に繋がるのだと思いました。

しっかりと発信することで、大人達の意見と、子供達の意見が混合すれば非常に面白いと思います。

ただ発信して終わりではなく、そこを深めて頂くことで、持続可能なまちづくりに繋がるのではないかとと思いました。

後のフォローをしっかりとってあげることが重要だと感じました。

(内海洋平)

我々も今後の活動に取り入れていたり、まとめた動画を議員の方や市長にお渡しすることができれば良いかと思っております。

(中島裕一郎)

議案を拜見して、やはりやる事が多くあるのだろうと感じました。

楽しい1日になるとは思いますが、先ほど高山副委員長がおっしゃられてように「持続可能なまちづくり」をテーマに持って来るのであれば、議場での発言が一番目的に即していると思います。

メインを核に持ってくる方が、参加しているメンバーにもわかりやすく、事業として成功するのではないかとと思います。

今回は様々なコーナーがあり、子供達は楽しめる内容だと思いますが、軸がぶれていってしまうと、JCメンバーとしては内海委員長の意図がわかりにくいかと思います。

議場での発言がメインになるとは思いますが、他のVTuberのコーナー等でも「持続可能なまちづくり」に繋がる何かができるのであれば、取り入れるのは手じゃないかと思いません。

未来ビジョン委員会として大事なテーマだと思いますので、先ほど言われたように次の例会や事業に発展させるのであれば、議場だけでは難しいのではないのでしょうか。

例えば、他にもアンケートにそういう内容を取り入れるであるとか、内容に関しては更に議論を掘り下げて頂いた方が良いのではないかとと思います。

(内海洋平)

ありがとうございます。頂いた意見をしっかりと参考にさせて頂いて、進めていければと思います。

(安楽城大作)

2021年最初の対外事業になります。

審議通り次第、皆で一致団結して支えていくということになりますので、そこも含めて採決を取りたいと思います。

*全会一致で承認。

15. 協議事項：(安楽城大作)

第1号議案 3月例会 事業計画(案) 予算(案)について

(島田昌広)

資料読み上げ(10-1, 10-2)

資料参照(10-3, 10-4)

続いて、事業収支予算書ですが収支予算明細書の方にてご説明させていただきます。

事業費繰入収入が60,000円。

支出につきましては、会場設営費支出が看板代として7,000円。

講師関係費支出が50,000円。こちらは個人へのお支払いとなりますので、源泉所得税の5,100円や、交通費、謝礼費を含めた金額となっております。

資料作成費支出が396円。こちらはアンケートとレジュメの2枚での金額となっております。

事業予備費支出が2,604円で、合計支出が60,000円となっております。

資料参照(10-5, 10-6, 10-7, 10-8)

続いて、3月例会事業概要についてご説明致します。

主に講師選定理由と、講演内容についてご説明致します。

資料読み上げ(10-5)

この度私が「主体性」をテーマにさせて頂いた理由なのですが、主体性を辞書で引きますと「自分の意思や判断に基づいて、責任を持って行動する」という意味があります。

人間が備えている力というのは、決断力や判断力や協調性など色々あると思います。

どうしてそういう中で「主体性」に重きを置いたかという、もし決断や判断に失敗してしまったときに、主体性があればそこに責任が生じると思います。

責任があるのであれば、失敗してももう一度やり直せる、失敗も受けいられる。

そういう風に思います。

そういったように、様々な力を100%活かすための土台として主体性が必要だと考え、今回テーマにさせて頂きました。

説明は以上になります。

慎重なる審議をお願い致します。

(高山敦好)

この先生の講演実績を教えて頂ければと思います。

(島田昌広)

先生は主に幼稚園、保育園、児童館、そういった場所で教育者への研修を行っておりますが、TV出演だったり、ご家庭向けの講演も数多くされております。

保育現場の先生方が学ぶことは、ご家庭でも活かして頂けることが沢山あります。

例えば、私の園では3年ほど前から実施しているのですが、「サークルタイム」というものがあります。

サークルタイムという物は、朝に子供達が円を作って、その日に何をするか話し合うというものです。

例えば「クリスマスが近いから飾り付けをしよう」「ハロウィンが近いからパーティーの準備をしよう」「雨が降りそうだから、午前中に外で遊んでおこう」といった具合です。それまでは、先生から園児達にその日にすることを伝えていましたが、今は自分たちでその日にすることを自主的に決めています。

これは家庭でも活かして頂けるのではないかと思います。

例えばお休みの日に、親の方から過ごし方を提案するのでは無く、子供に

「明日はどうする?」「なにがしたい?」「じゃあ宿題はいつやるの?」

という風に聞いて、自発的に決めて貰うということが出来るかと思います。

一例ですが、先生はこういった形で家庭でも使えるようなことを講演されております。

(高山敦好)

対内で例会をする中で、「保育士になりたい」という人はいないと思います。

ですので、保育士の方々向けの話に集中されると困るのではないかと思いますし、特に、子供がいない人はあまり興味も持ちにくいと思うので、その点は注意をした方が良いと思います。

また、この例会をメンバーが聞いて、どういう風に行動が変わるのかイメージができないのですが、何かイメージはありますでしょうか。

(島田昌広)

メンバーの行動がどう変わるのかということですが、お子さんがいらっしゃる方はご家庭に持ち帰ってもらえればと思います。

お子さんがいらっしゃらない方や独身の方も、周りに子供が全くいないという人はあまりいないと思いますし、今後ご自身だけでなく友人や親戚で子供に触れる機会はあると思います。

そういった際に、「こういうものをプレゼントしよう」だとか「こういう声かけで子供は伸びるのではないか」という風に参考になればと思っています。

すぐに影響がない方もいらっしゃるかもしれませんが、将来を見据えて勉強して頂くことは無駄ではないと思いますので、良い機会になればと思っています。

(高山敦好)

うちの子供が2歳と5歳で、乳幼児の時期が終わったのですが、「手遅れだ」と思ってしまいう講演にはならないでしょうか。

(島田昌広)

乳幼児から学ぶということで上げてはおりますが、小学生、中学生からでも今回の先生の講演内容は活かしてもらえる内容だと思います。

手遅れということはございませんので、参考にして頂けると幸いです。

(高山敦好)

メンバーのための例会というところをしっかりと認識してもらえればと思います。

他業種の人間が集まっていて、子供がいないメンバーもいる中、アンケートを拝見すると答えられないようなものもあるかと思っています。

その辺りを考慮して頂き、構築して頂ければと思います。

(島田昌広)

アンケートについてですが、3.の問いに「日常の生活や子育ての中で」とありますが、これはご自身の経験でも結構です。

子供の時に、「こういうことを工夫していた・ルーティーンにしていた」もので、主体性に繋がったのではないかという物を書いて頂ければと思います。

ですので、お子さんがいない方や、独身の方もお答えできるかと思っています。

4. の「主体性」を養うことで、家庭環境や人間関係にどのような好影響を期待しますか」という質問に関しても、子供に限らず、主体性が身につくことで大人の社会でも、会社や友人関係にどのように好影響があるかを考えて頂ければと思いますので、是非ご解答頂ければと思います。

(内海洋平)

2つお聞かせ下さい。

1つめなのですが、こちらの講演内容は「モンテッソーリ教育」と言われる物なのでしょうか。

2つめなのですが、講師の方はどちらにお住まいなのでしょうか。

緊急事態宣言が出ておられる地域におられるのかどうかは重要だと思うので、お聞かせ願えればと思います。

(島田昌広)

まず、モンテッソーリ教育に関してですが、私の園でも導入しているヨーロッパの教育方針で「ピラミッドメソッド教育法」というものがあります。

モンテッソーリ教育と、おそらく近しい考えもあると思います。

例えば、「2歳児はバランス能力」「3歳児は空間把握能力」というように、年齢に応じた教育を行うのですが、その点はかなり近いと思います。

ただ、先ほど申し上げた「サークルタイム」はピラミッドメソッド独自の考え方になります。

子供達に、どういう風に遊びに対して興味を持たせるのかというアプローチの方法は変わってくると思います。

また、講師の方ですが京都在住になります。

ZOOM を使った例会の可能性も十分にあると思います。

その場合のゲーム体験についてですが、こちらは講師の先生が説明をするわけではなく、委員会メンバーがゲームの方法を学んで、各テーブルに伝えるという形を取りますので、ゲーム体験には影響はないかと思っています。

講師の先生には直接お会いしてお話しさせて頂いており、ZOOMでの講演もOK 貰っておりますので、そうなった場合はしっかりと準備をして臨みたいと思います。

(内海洋平)

意見になりますが、私は子供がいないのですが、お子さんがおられる方は具体的に「こういう教育方法が聞ける」というのがわかったほうが良いのかなと思いました。

(島田昌広)

参考にさせていただきます。ありがとうございます。

(山本恭平)

最初 10 分間にゲームを行うことで、よりスムーズな講演を行うということですが、ゲーム内容を拝見したところプレイできる人数に限りがあると書いてあります。当日の出席率がどうなるかわかりませんが、委員会によっては、数を数個用意してもらったほうが、ゲームを楽しむという意味でも良いのではないかと思いました。その辺りも含めて講師の先生と話し合っていて、ベストの形を探っていた方が良いのではないかと思いましたが、その点はいかがでしょうか。

(島田昌広)

ゲームについてですが、当初は 20 分の時間を想定していました。しかし、先生の貴重なお話を聞けるせっかくの機会なので、ゲームの体験時間を抑えて、講演時間を延ばす設えに変更しました。10 分では繰り返しゲームをすることは難しく、ゲームそのものを楽しむというよりは、ゲームの説明と、どういう形で子供の発達を補っていくのか、そういう風に主体性に繋がるのか、等の説明に近い時間になるかと想定しています。数としては、各委員会に 2 ゲームを 1 つずつ置かせて頂き、しっかりと説明ができるように準備をしたいと考えております。

(中島裕一郎)

講師の先生の講演時はパワーポイントなどは使われないのでしょうか。

(島田昌広)

先生は普段パワーポイント等は使わず、レジユメのみでご講演をされているようです。そのレジユメを 10-9 に添付しておりますが、大きく 3 つのテーマに分かれております。そのテーマ毎のキーワードを教えて頂き、レジユメに追加しております。数多くの講演実績や、TV 出演もされており、お話は非常に上手ですので、レジユメだけでも十分内容は伝わると思っています。

(中島裕一郎)

講演が 60 分という長時間を予定されており、やはり話が上手であっても話を聞くだけというのは大変かと思えます。パワーポイントがないのであれば、手元に資料があれば良いなと思えます。私は資料を持って帰って見ることもよくあります。

第2回理事会 議事録

加藤雄大委員長がやられた食育の資料は家に持ち帰ったところ、家庭内で好評だったことがあります。

特に子育て世代の方は、何かやっていることを周りの人に言いたくなるものだと思いますし、その際に資料があれば大変良いのではないかと思います。

印刷代はかかるかもしれませんが、ご検討頂ければと思います。

(島田昌広)

委員会で検討させていただきます。ありがとうございます。

(小西琢真)

アンケートの内容についてですが、3. と4. ですが、主体性に関しての質問がありません。

島田委員長が聞きたいことなのだろうと思いますが、講師の先生の話聞いて何か影響があると想定されているのでしょうか。

この質問内容ですと、今でも答えることができるように思いますが、どういう意図でこの質問を入れているのかお聞かせ下さい。

(島田昌広)

主体性は講演を聴いて家庭に持ち帰って頂いて、すぐに主体性が身につくというものではなく、日々の積み重ねで身につくことだと思っています。

今後の家族会や本事業に繋げるために、皆様の考える「主体性」というものや、将来どのように主体性が活かされていくべきだとお考えであるか、

また、ご自身の経験や、お子さんへの教育の中での「習慣・工夫」を伺って、事業等に活かせられないかという意図でこういうアンケートにしております。

講演前と後で考えが変わるということはあると思いますし、講演を聞いての思いをストレートに書いて頂いても構いません。

考えが変わった場合は、前と後でどう変わったのかを書いて貰っても良いですし、色々とご意見を伺いたいと思っております。

(高山敦好)

色々とお話を聞いていて、上程書の「過去の検証・本年の工夫と期待される効果」の中に「将来会社やまちのリーダーを多く輩出することの一助になることが期待できます」というところ箇所が、今回の事業の大事なポイントかと感じました。

ここをもう少し前に出していけば、より伝わるのではないかと思います。

今のままだと、「教育者になろう」というのが強く出過ぎている印象を受けました。

第2回理事会 議事録

(島田昌広)

委員会で考えていきたいと思います。ありがとうございます。

(安楽城大作)

私からも質問させて下さい。

2つあるゲームですが、それぞれ対象年齢は何歳くらいなのでしょう。

(島田昌広)

「ハリガリ」が4歳から。「ダブル」が3歳から、となっております。

(安楽城大作)

ありがとうございます。

事業内容に「年齢に応じた発達を促進する」とあったので、もう少し幅が広いのかと思っていました。

私も小学2年生の子供がいますが、高山副委員長の言葉を借りれば「手遅れ」になってしまうかと思うので、可能であれば対象年齢を広げることにはできないかと思っています。そうすることで興味の幅が広がるのではないかと思っています。

「主体性」というテーマは大人にも重要であるかと思っていますので、皆に興味を持って貰う為にもご検討頂ければと思います。

(島田昌広)

ヨーロッパのゲームの特徴が、対象年齢に関しては日本とは少し事情が違うところがあります。

日本のおもちゃだと「4歳から6歳」という、幅が狭い物が多くありますが、ヨーロッパの物は「4歳から99歳」であるとか、「4歳以上」という表記が多くあります。

その年齢以上であれば、子供でも大人でも楽しめるというのがヨーロッパのおもちゃの特徴です。

話が少しそれてしまいますが、ヨーロッパのある地域では18時以降は「テレビを見ずに家族でボードゲームを楽しむ時間」というのがあったり、老人のご夫婦が二人でボードゲームを楽しんだり、そういう文化が定着しているそうです。

「ハリガリ」と「ダブル」に関しても、いつまでと言う縛りは無く、いつまでも楽しめるというのが大きな特徴です。

ですので、そこまで幅は狭くないのではないかと私は感じております。

(安楽城大作)

わかりました。ありがとうございます。

その他、質問等無いようですので、本議案を閉じさせていただきます。

16. 報告依頼事項：（歌一行）

特に無し。

17. 連絡事項：（加藤雄大）

3点連絡事項がございます。

1つめですが、2月例会についてですが、基本的には会場に集まる形式での開催で、講師と会場をオンラインで繋ぐ設えにしておりますが、会社等の事情で出席が厳しい場合は、オンラインの出席になります。

そちらに関しては事務局の方で取りまとめさせて頂いて、出席の案内をさせていただきます。出席希望者の人数や、現役会員だけなのか、OB会員もなのか、等の状況によって、どのような形で配信するかをかえようと考えています。

オンライン出席に関しては事務局にご一任頂ければと思いますので、委員長の皆様には連携をお願いする場面もあるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

2つめですが、次回上程締め切りが2月19日の金曜日の19時までとなっております。よろしくお願いいたします。

3つめですが、お手元に資料を配付しておりますが、赤い羽根共同募金のご協力のお願いが、社協さんを通じてきております。

基本的には賛同していきたいと思っておりますが、あくまでも善意になりますので、委員長が各委員会メンバーに確認を取って頂いて、大池委員長に取りまとめをお願いしますので、大池委員長にご連絡をお願い致します。

募金金額は基本的に1人1,000円になります。

了承して頂いた方は、特会で引き落としになります。

よろしくお願いいたします。

18. 監事講評：

（今岡正英）

皆様、お疲れ様です。監事講評をさせていただきます。

まず、審議事項の中で新年例会の報告がありました。

上程資料にも記載がありましたが、OBの方々から賞賛の声を私に直接頂いたり、間接的に聞こえてきたりしています。

OBの方々をお呼びするという事は、OBの方々に何かを聞いて貰いたいという事だと思います。

今後そういう機会には「何を聞いて欲しいのか」を織り込むと、より良い物ができるのではないかと思います。

第2回理事会 議事録

続いて、内海委員長の事業ですが、新しい場所で、新しい事業をと言うことで、非常に楽しみにしております。

時代にも沿った内容だと思いますので、入念にリハーサルをして頂いて、対外の皆様だけでなく、関わる全ての皆さんに配慮して設営をしていただきたいと思います。

最後に、3月例会に関してですが、島田委員長らしい例会であると思います。

主に子供に主体性を持ってもらうことをテーマにしていると思いますので、島田委員長の色を出した例会にしていただければと思います。

以上、監事講評と致します。

19.次回開催日の確認：（歌一行）

3月8日（月）19:00より 国際ホテルにて

20.閉会：（歌一行）

21.点鐘：（安楽城大作）